

研修名 乳児保育・教育

平成29年11月27日(月) 13:30~16:00

講演 「保育でつむぐ子どもと親のいい関係」

講師 東京家政大学 井桁 容子 氏

1 講演要旨

・ <今の親世代の特徴>

○「世間で名の通った大学に行ってほしい」 40代→3割弱 20代→1割未満

○引きこもりが多い世代 (引きこもりの高齢化・8050問題)

→ 完璧な人、人と同じ事ができないと仲間はずれになる!と思っている人

○子どもの出来栄えが気になり、子どもに厳しい → 結果が全ての親が多い

・ 「救われて、救われて、救われる過程(プロセス)の集積」

基本的な信頼感 ・ ・ 0歳児で応答的で受容的が必要。

↓

いい子でなくても時々、失敗しても大丈夫なんだ!

・ 「いいこね」「おりこうさんね」 ・ ・ どんな時にどんな意味で使っていますか?

→ 本当の挨拶は どうするのか? を教える。

心でするもの、大人がやっていたら分かる(やる)

・ 人は、自分の行為を認められないと意欲はわかない

*関わる意欲の低下 ⇒人の話は本気で聞かない

周囲の物への興味がわかない

*学ぶ意欲の低下 ⇒言われたことを鵜呑みにする

*生きる意欲の低下 ⇒自分なんか・ ・

自分から～～したい!と意欲が育たない

・ <親としての成長実感がもたらすもの>

保育所に子どもを預けて親として成長したなあと思う。

・子ども主体の保育をしている

・どうしてそう思った?わが子のいいところが分かった。

・主体的とは、その子のその子らしさを尊重する

・ 母親への共感的環境

*人類の子育て歴史から

*江戸時代の母親も子育ての悩みはあった

*現代の親の子育てのむずかしさ感は母親の責任ではない



周囲の人が助けられなくなった
母を安定させれば 子どもも安定する

・保護者の思い・保育者の役割

「どうしてそんなことするの！」・・・認知特性の説明

⇒お母さん。1歳児は言葉にできないから 噛んでしまうんですよ
比べなくていいんですよ。発達とはそういうものですよ。

「もうしらない！」・・・具体的な関わり方の助言

⇒お手上げ、どうしたらいいか分かりません。

説明をしてやる。なぜ、そうなったかが答えられるように。

「うちの子は変じゃありません！」・・・専門機関にどうつなげるか

⇒困っていることを困らないようにしてあげたらいい。

・年長で人の話が聞けない



0歳児の時に強制的な保育をしていなかったか？

・泣く子がだめなんじゃない。

泣く＝感情表現の最終手段。泣きやませるのではなくて、泣いている訳を知る。

・保育士は、子どものいいところを応援する仕事。

・私は、ちゃんとやっている！という親より 私なんてまだまだ・・・と言う親！！

・コミュニケーション力とは、、、

⇒「ごめんね」「いいよ」で終わらせるだけでいいのか。ただ、ごめんねとうわべ
で言われても意味がない。

・自分の思いを分かりやすく伝える力

⇒側に共感、受容する大人がいること（自分の思いを言語化してくれる大人）

否定的な言葉ばかり言っている大人がいるのは×

共感して言語化してくれる。甘やかしとは違う。基本的信頼感。

○子どもを通して大人になる。子どもから学ぶ。

○操作することを保育だと思っている人が多い。

・一人一人を主体として、尊重して・・・に気づくと子どもがまとまってくる。

・子どもを信頼できない。 ←見足りてない。

意欲が育つ子育てポイント

・子どもは、もともとみんなで育てるもの

→お母さんだけで育てるんじゃないよ。

・他の子どもと比べない

→子どもはみんな違っていいんですよ。

・子どものいいところを大切に作る

→お母さん、お父さんのいい所も大事にする。

- ・子どもは、みんな育つ力を持っていることを信じる

→保育の中で実践する

- ・子どもの行為には訳があるというまなざしで、面白がって見る習慣をつける

→その子らしさを見極めるのがプロ。

2、感想

今回の研修に参加させていただいて、自分の今までの保育を振り返ることができました。

今、言われている主体的保育・・・なかなか難しいものではあるけれど乳児の時から保育者の関わり方一つで何かが変わる。変わっていくもの。子どもから学べない大人は、大人になれない。と言われてなるほどな！と思い、何かあったときはどうしても子どもを何とかしようと思ってしまいました。子どもよりも自分が変わる、子どものことを知る、自分が未熟なことに気づけ！と言われたのがとても印象的でした。それと同時に乳児保育の大切さも身にしみて感じました。

井桁先生のお話とても分かりやすく、エピソードなどもとても興味を持って聞くことができました。また、先生のお話を聞いて勉強したいと思いました。

これからも一人一人の良いところを伸ばすそんな保育をしていきたいです。

ありがとうございました。

(記録 京丹波町立上豊田保育所 小室 由紀)